

2-7.2_1

(2) 学生研修

1) 1年次学生の合宿研修

工学部では、新入生に対して教員と学生間の親睦を図るため、毎年合宿研修または日帰りの研修を行っている。平成22年度の研修は次のとおりである。

1 物質生命化学科

本学科では、合宿研修におけるスポーツ大会を通じて新入生と教職員及び、学生会(青藍会)と新入生の親睦を図っている。また、学科研修会として各研究室および技術部の教職員紹介と研究内容の紹介を行っている。平成22年度の物質生命化学科1年次の学生研修の概要は次の通りである。

日時：2010年5月15日(土)

場所：熊本大学黒髪南地区 工学部百周年記念館(研修会)、FORICO(歓迎立食パーティー)

参加学生数：1年生87名、3年次編入生7名、学科教職員および青藍会学生：15名

参加教職員数：21名(研修会等)

日程及び内容等：

5月15日：

9:20 集合

9:30 開式(学生支援委員)

9:30-9:40 学科長挨拶

9:40-10:40 学科研修会

～研究・教育活動の紹介①

10:50-11:50 学科研修会

～研究・教育活動の紹介②

11:50-12:20 全体質疑(学科年間行事の紹介、学生生活 Q&A、など)

13:00-13:10 1年生担任挨拶

13:10-14:30 新入生歓迎立食パーティー

16:00- 物生 大ボウリング大会(青藍会)

2 マテリアル工学科

日時：2010年5月10日(月)～11日(火)

場所：大分県立社会教育総合センター九重青少年の家(大分県玖珠郡九重町大字田野204番地の47)

新日本製鐵株式会社大分製鐵所(大分市大字西ノ州1番地)

参加学生数：1年生49名

参加教員数：教職員数2名

日程および内容等：

5/10 10:25 100周年記念館前に集合(10:30出発)

14:00 九重青少年の家 リクリエーション, 大学での勉学について

たたら製鉄プロジェクト(火の国たたら2010)の立ち上げ

夕食後 プラネタリウム

5/11 8:30 出発 九重夢吊大橋で記念写真

- 11:00 新日本製鐵大分製鐵所 大分製鐵所の紹介
11:30 特別講演「新日本製鐵の環境への取り組み」
講師：新日本製鐵株式会社大分製鐵所 森口誠氏
12:00 材料系新入社員との昼食懇談会
12:45 工場見学（バスから高炉，製鋼工場の見学，徒歩による熱間圧延工場の見学）
14:00 製鐵所出発
17:30 熊大到着

3 機械システム工学科

本学科では、新入生の導入授業である機械システム入門セミナーの一環として日帰りの研修旅行を実施しており、機械システムの専門科目を学ぶことの動機付けと社会に踏み出す際に必要な心構えについての教育を行うと共に、学生間ならびに学生－担任間の親睦を図っている。平成22年度の機械システム工学科1年次の研修旅行の概要は次のとおりである。

実施日：平成22年4月26日（月）

スケジュール：8:10～16:00 九州電力 八丁原・大岳発電所

参加人数：学生109名、教員4名

実施内容：九州電力 八丁原・大岳発電所において、地熱発電の原理と設備概要の説明を受け、発電所紹介ビデオの視聴、施設見学を行った。

4 社会環境工学科

2010年度の新入生のための合宿研修は、「環境とエネルギー」をテーマに5月31日（月）、6月1日（火）の一泊二日にて実施された。本年度は、「私たちの暮らしを支える社会環境工学の一端を、学外の施設見学を通じて肌で感じよう」とする意図から、防災という面では治水灌漑目的で建設中の大型ダム、エネルギーという面では水力発電所、ゴミ問題という面では大牟田エコタウン、さらに交通渋滞およびCO₂削減問題という面では建設中の有明沿岸道路および諏訪川橋梁と、大型施設の梯子的巡回となった。これらの施設見学を通じて、いかにバランスよく社会開発と環境保全との両立を図り、実現していくかといった大問題について興味を持っていただけたら幸いである。

今回はこのような企画となったため、昨年度実施された上級生との親睦を深めるような機会は設けることができなかった。また、帰路は悪天候となってしまったが、幸いにも屋外での見学時には支障なく、無事に研修を終えることができた。

参加者：学生76名， 教員：16名

月/日(曜)	スケジュール
5/31(月)	<p>○集合場所:工学部2号館212教室 ○集合時間:7時30分 ○乗車場所:熊本大学百周年記念館前 ○出発時間:8時00分</p> <p>熊本大学==熊本IC==佐賀大和IC==天山発電所展示館=/ 8:00 *休憩1回 10:20 12:30 /=ダムの駅富士町「しゃくなげの里」(嘉瀬川ダム展望と昼食休憩)=/ 13:10 14:30 /=佐賀県北山少年自然の家 14:35</p> <p>【研修】 14:35-15:00 準備 15:00-17:00 溝上先生による社会環境工学教育プログラム研修(研修室1) 17:00-17:30 タベのつどい 17:30-20:00 夕食・入浴 20:00-20:30 準備 20:30-22:00 学生・教員間グループミーティング(食堂) 22:00-22:30 準備 22:30 消灯・就寝(生活棟での飲食禁止・食堂でのみ)</p>
6/1(火)	<p>06:30 起床・準備 07:00-07:30 朝のつどい 07:30-08:30 朝食・清掃・準備 ○出発時間:8時30分 佐賀県北山少年自然の家==佐賀大和IC==南関IC=/ 8:30 /=大牟田エコタウン[大牟田・荒尾RDF施設、大牟田RDF発電所]=/ 10:20 12:00 /=昼食(諏訪公園)==諏訪川橋梁工事現場見学=/ 13:55 15:00 /=有明海沿岸道路[矢部川橋梁・堂面川橋梁・車窓見学]==熊本大学着 15:10[大和南IC] 15:15[大牟田IC] 16:30</p>

● 2年生の見学会

平成 22 年 9 月 24 日に、研修旅行を行った。例年では、工事現場や環境センターの見学等を行っているが、本年は、世界遺産暫定リストに登録されていることで話題となっている万田坑などをめぐり、地域の歴史における社会基盤施設の意義、遺産保存の在り方、歴史を活かしたまちづくりへの展開などについて学習することを目的とした。具体的には、NPO 法人 大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブの永吉氏にご協力を頂き、「旧三井港倶楽部」から「万田坑」、「宮原坑」に至るグループと、その逆の行程をとるグループの二つに分け、見学を行った。天候にも恵まれ、社会環境工学の一つの重要な側面を、体験できたと考えている。

5 建築学科

日時:平成22年5月31日(月)～6月1日(火)

場所:九州地区国立大学九重共同研修所

大分県玖珠郡九重町湯坪字八丁原 600-1 TEL(0973)79-2617

参加学生数:61名

参加教員数7名

日程および内容等:

平成22年5月31日(月)

- 08:30 集合 熊本大学工学部百周年記念館前
- 09:00 熊本大学出発
- 10:30 小国町到着 建築物見学 小国ドーム、ゆうステーション、木魂館
- 12:00 昼食 木魂館
- 13:00 小国町出発
- 13:50 研修所到着
- 14:00 スポーツ大会「2010年度建築1年生バレーボール選手権大会」(体育館)
- 15:30 講演会(大研修室)「建築を通して社会と接する」講師:堀池秀人氏
- 17:00 宿泊室割り振り
- 17:30 夕食(大食堂)
- 18:30 入浴(男女浴室)
- 19:30 懇親会(大広間)
- 22:00 消灯

平成22年6月1日(火)

- 07:30 起床
- 08:00 朝食(大食堂)
- 08:30 清掃
- 09:00 記念撮影
- 09:10 研修所出発
- 10:30 日田市到着 町並み見学 豆田町の町並み
- 11:30 日田市出発
- 12:00 昼食(研修所製の弁当)
- 13:30 うきは市到着 町並み見学 吉井町の町並み
- 14:30 うきは市出発
- 16:00 熊本大学到着 解散

6 情報電気電子工学科

情報電気電子工学科一年次の合宿研修は、一年次学生158名を2班に分けて、下記の通り5月24日(月)～25日(火)の一泊二日の日程で行った。

(1)A組

日時：平成22年5月24日(月)～5月25日(火)

場所：九州地区国立大学九重共同研修所

参加学生数：1年生79名(A組、B組の学生番号下1桁が偶数の者)

参加大学院生数：8名

参加教職員数：6名

日程および内容等：

<u>5月24日(月)</u>	<u>5月25日(火)</u>
09:00 熊本大学 集合	07:00 起床
09:20 熊本大学 出発	07:30 朝食
11:00 草千里 到着(昼食)	08:30 特別講演(中村先生)
12:00 草千里 出発	09:00 研修3(グループ発表)
13:15 九重共同研修所 到着	10:45 九重共同研修所 出発
13:30 研修1(偏愛マップによる自己紹介)	11:00 八丁原地熱発電所 見学
15:30 自由時間(体育館でスポーツ)	12:30 八丁原地熱発電所 出発
17:30 夕食	12:50 やまなみ牧場 到着, 昼食
18:30 入浴 / 休憩	13:50 やまなみ牧場 出発
19:00 研修2(ものづくりアイデア討論)	15:00 阿蘇大観峰 到着
20:30 親睦会	16:00 阿蘇大観峰 出発
22:00 消灯	17:30 熊本大学 到着

(2)B組

日時：平成22年5月24日(月)～5月25日(火)

場所：九州地区国立大学島原共同研修センター

参加学生数：1年生79名(A組、B組の学生番号下1桁が奇数の者)

参加大学院生数：8名

参加教職員数：6名

日程および内容等：

<u>5月24日(月)</u>	<u>5月25日(火)</u>
08:00 熊本大学 集合	07:00 起床
08:15 熊本大学 出発	07:30 朝食
09:55 熊本港から島原行フェリーに乗船	08:30 特別講演(有次先生)
11:30 島原共同研修センター 到着	09:00 研修3(グループ発表)
12:00 昼食	11:00 島原共同研修センター 出発
13:00 研修1(偏愛マップによる自己紹介)	12:00 国民宿舎 青雲荘 到着, 昼食
15:30 自由時間(体育館でスポーツ)	12:40 青雲荘 出発
17:30 夕食	12:45 雲仙地獄めぐり
18:30 入浴 / 休憩	14:00 雲仙 出発
19:00 研修2(ものづくりアイデア討論)	14:30 みずなし本陣ふかえ 到着
20:30 親睦会	15:45 島原港から熊本行フェリーに乗船
22:00 消灯	17:00 熊大 到着

7 数理工学科

本学科の新入生を対象にした研修旅行は、下記の通り 5 月 22 日(土)に、学生 16 名、教職員 3 名の 計 19 名の参加のもとに行われた。学生間、および学生と教職員の親睦を図ると共に、工場など見学を通して、ものづくりの現場を体験した。

日時 平成 22 年年5月22 日(土)

場所 ・午前 フジバンビ

見学1. フードパル 見学 2. 杉養蜂園:蜜ろうづくり、 見学 3. 熊本ワイン

・午後 漱石・草枕の里 散策

峠の茶屋 散策

なお、当初見学先としてソニーコンダクタを考えていたが土曜に営業していないということで上記コースに変更した。